昭和大学の思い出（卒業生7人）

医学部　田中宏茂

今から6年前、私は期待や希望を胸にはるばる地元大阪から上京しました。入学式を終えるとすぐにバスに乗り富士吉田キャンパスへ向かいました。そして、これから約1年もの間生活することになる赤松寮に到着し、同じ部屋に住む3人に出会いました。私たちの部屋は皆が話し出すと止まらない面白い顔ぶれの集まりになり、そのような恵まれた環境の中で過ごした1年間は最高の思い出です。

2年生からは旗の台のキャンパスでの大学生活がスタートしました。そこからの5年間は、周囲の人から〝昭和大学アイスホッケー部医学科〟の学生だと揶揄されるくらいアイスホッケーに没頭した5年間でした。これを執筆している今日は卒業式を終え4日が経ちますが、アイスホッケー部の練習に参加し汗を流しています。アイスホッケーと医学の勉強に忙殺された6年間で鍛え上げられた体力と知識をもとに、来春から始まる研修医生活を乗り切ろうと思います。

最後になりますが、昭和大学の皆さまの6年間にわたる温かいご指導、ご支援に感謝申し上げます。ありがとうございました。

歯学部　塩野　奨

昭和大学で過ごしてきた6年間において、1年生の時は富士吉田校舎にて心身ともに成長することができました。学部を越えた友人たちと楽しく医療人としての基礎を学び、集団生活することによってたくさんのコミュニケーションを取ることができました。

2年次以降は先生方の指導の下、専門的な講義や実習によって多くのことを学びました。また、放課後はサッカー部の活動に励み、体力の向上や上下関係を知る良いきっかけとなりました。6年次にはオールデンタルで優勝することができ、最高の体験となりました。

今までの6年間を通してさまざまな方にご指導を頂きながら成長することができたと自負しています。たくさんの思い出とともに歩んだ充実した6年間を過ごせたことを、心から感謝いたします。

卒業後は昭和大学で学んだことを生かしつつ、人として成長し続けたいと思います。昭和大学の精神である「至誠一貫」を実践し、医療人としての姿勢を忘れず、歯科医師として精進していきたいと思います。

薬学部　野地桃代

入学して富士吉田キャンパスへ向かうバスに揺られ次第に大きくなる富士山と共に不安と期待の気持ちも大きくなったことが昨日の事のように思い出されます。不安が大きかった寮生活では、他学部を交えた同部屋の友人らと寝食を共にし、友達を越えて家族のような存在になりました。

2年次からは専門科目の授業や実習で1年次との違いに戸惑いながらも薬剤師としての知識や技能を身につけました。また、学園祭実行委員として活動し、他学部・他学年と1つのものを作り上げる楽しさを知りました。さまざまな困難を経て完成した学園祭で多くの人が笑顔になる光景は一生の宝物になりました。

4年次以降は研究や実務実習を通して実践的な学習を行いました。特に付属病院で行った病院実習では患者さんに寄り添い、向き合っていく薬剤師の姿勢やチーム医療のあり方を学ぶことができました。

卒業後はそれぞれが新たな道をスタートさせますが、薬剤師として昭和大学で培った至誠一貫の精神を実践していきたいです。6年間ありがとうございました。

保健医療学部　看護学科　今郷はるか

楽しみと少しの不安が入り混じった気持ちで富士吉田キャンパスに入寮したのは、今からもう4年前になります。振り返ってみるとついこの間のように思えますが、その時間はとても濃厚で楽しいものでした。明け方までのお菓子パーティーや部屋メンで仮装をしたハロウィーン。勉強は覚える量に圧倒されながらも、先輩にアドバイスを頂いたり、友人と一緒に語呂を作ったり、教え合いながらなんとか乗り越えられました。実習では患者さんのために何ができるのかを真剣に考え悩んだり、患者さんからの温かい言葉にこちらが元気をもらったり、1歩ずつ看護師に近づいている実感があり嬉しかったのを覚えています。仲間がいなければここまで乗り越えられなかったと思います。

保健医療学部　理学療法学科　安藤貴紀

昭和大学に入学してから4年間が経ちました。この4年間は毎日が充実していて、あっという間に過ぎていきました。

富士吉田での寮生活では学部を越えて共同生活をし、多くの仲間ができました。毎日、寮では笑いが絶えなかったことを今でも覚えています。

横浜キャンパスに来てからは、学科の仲間との関わりもより増えました。毎年、学科のみんなで夏休みにはキャンプや旅行に行き、楽しい思い出ができました。筆記試験や実技試験、臨床実習、国家試験など忙しい時期もありましたが、周りの仲間や先生方のサポートもあり、みんなで乗り越えることができました。試験や実習が終わったあとには、毎回飲み会を行ったことも良い思い出です。

4年間を振り返ってみると楽しいことや大変だったことなど色々ありましたが、すべてが大切な宝となっています。この仲間との出会いに感謝してこれからも生活したいと思います。ありがとうございました。

保健医療学部　作業療法学科　清水尚紀

作業療法士への憧れを抱いて昭和大学に入学してから早くも4年の歳月が過ぎ、無事に卒業の日を迎えることができました。

この4年間を振り返ると、1年次の富士吉田キャンパスでは、学部の垣根を超えた一生の仲間ができ、笑顔が絶えない生活でありながらもお互いの勉強を共有し切磋琢磨しあえたことが大切な思い出と経験になりました。また2年次以降においても、横浜キャンパスで専門知識を身に着けることはもちろんのこと、解剖実習やPBLそして臨床実習等の多くの機会を通して、他学部が得意とする領域の理解を深めることができたのは将来の糧になる貴重な体験でした。これら充実した大学生活を送れたのは、家族や友人、教えてくださる方の支えがあったからです。心から感謝しています。

今後は、昭和大学での4年間の思い出や経験を全て存分に活かして、作業療法士としてチーム医療を軸に患者さんに貢献できるように引き続き精進します。

医学部附属看護専門学校　真田夏帆

看護専門学校に入学し、あっという間に3年間がたち無事に卒業の日を迎えることができました。

1、2年生では数多くのテストに追われ、3年生では実習と国家試験の勉強を両立しなければならないという忙しい日々の中で、くじけそうになるときもありました。しかし、同じ志を持った仲間と励まし支え合うことで共に乗り越え、夢に向かって日々努力することができました。

また、ソフトテニス部に所属し、他学年・他学部との交流や日々の練習、試合、合宿など、より充実した学生生活を送ることができました。なかでも、炎天下での練習やスイカ割り、花火、夜遅くまで語った夏の合宿は楽しく、とてもいい思い出です。

3年間、厳しくも愛情あふれるご指導をして下さった先生方、この学校で出会えたかけがえのない友人、これまで支えてくれた家族に感謝しながら、信頼される看護師になれるよう日々努力していきたいと思います。

助産学専攻科の学生が日本助産学会賞を受賞

助産学専攻科6期生の学生を代表して山崎佑香さんと今野千穂さんが、3月4日に行われた第32回日本助産学会学術集会の学生ポスター発表において日本助産学会賞を受賞した。

二人は、学生らが受け持った12組の夫婦の妊娠期から分娩期・産褥期、その後の育児期に継続して関わる中で、助産観（助産師のアイデンティティ）の変化に伴う自己の成長の要因を客観的に分析しポスター発表した。

ポスター題名

「継続事例が育ててくれた私たちの助産観」

山崎佑香さんのコメント

このたびは日本助産学会賞を受賞でき、大変光栄に思います。共に学んだ6期生全員の成果であり、充実感でいっぱいです。さらに、ご協力いただいたご家族の方々に心から感謝申し上げます。助産学専攻科での貴重な経験や学会で得た学びを糧に、今後も精進して参ります。

今野千穂さん（左）　山崎佑香さん（右）

就任パーティー
退任パーティー
祝賀会・親睦会
忘年会・同窓会
医局旅行

イベント運営お手伝いします

会場手配
招待状発送
出欠席管理
会費管理
JR・バス等手配

昭友商事株式会社　03-3784-8280

各賞受賞者

【医学部同窓会賞】

左から　小野　悠吾　太田万由子　福岡　聖也

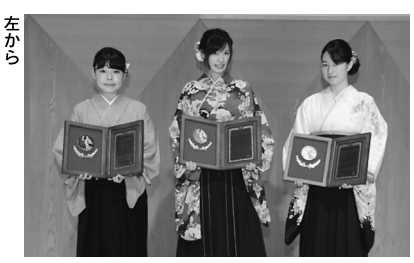
【歯学部同窓会賞】

左から　関　玲乃　青木　理紗　川田　真鈴

【薬学部同窓会賞】

左から　加藤　梓　林田　紗帆　南出　麻菜

【保健医療学部同窓会賞】



左から　吉田　沙羅（看）　吉澤　菜緒（理）　藤江　美里（作）

【最優秀スチューデント・インストラクター賞】

左から　芳山紗栄子（薬）　飯田　剛瑠（保）

【看護専門学校表彰】

鈴木モヨ賞　鉾田　明子（左）
石井満賞　小池　早紀（中）
昭桜会賞　梶　恵理子（右）

医学堂書店
品川区
旗の台
電話(03)
3783-9774